

滋賀県芸術文化祭50回記念誌

滋賀県芸術文化祭実行委員会



発刊にあたって

滋賀県芸術文化祭は今年度、第50回という記念すべき年を迎えることとなりました。県内の文化団体、文化施設の関係者をはじめ多くの方々の御支援を得て、50年もの長きにわたり芸術文化祭を続けることができましたこと、またその歩みをまとめた記念誌を発刊できたことは、大きな喜びとするところであり、関係各位に心から御礼申し上げます。

本県では、優れた芸術文化を鑑賞するとともに、日ごろの芸術文化活動の成果を公表し発表しあう機会を、広く県民の皆様を提供するため、昭和46年に「第1回滋賀県芸術祭」を開催しました。開会式・記念公演の会場となった当時の滋賀会館には、1日で1,000人もの方々が来場されたと記録にあるように、当時から県民の文化芸術に対する関心は高く、文化芸術が人々の心の糧になっていたものと存じます。

以降、美術展覧会、写真展覧会、文学祭の主催事業と、県内の文化団体等が実施する参加事業とを一体的に開催し、平成12年には「芸術文化祭」と名称をあらため、今日に至っています。この芸術文化祭が今なお多くの県民の皆様にあげられ、開催させて頂いているのは、ひとえに作品を出展される方々をはじめ、多くの県民の皆様の温かい御支援と、芸術文化祭に携わっていただいている関係者の方々の御尽力の賜物であります。

開催50周年という節目にあたる今年度は、残念ながら新型コロナウイルス感染症の感染拡大により全国の展覧会等の多くが中止、延期となり文化芸術に親しむ機会が失われた一年となりました。しかし、この状況を変化の機会ととらえ、WEB上での展覧会の実施等、新たな文化芸術活動の展開が見られ、文化芸術の重要性があらためて見直されたように感じます。人とひととの絆や心の豊かさが、これまで以上に求められる現代において、文化芸術は、豊かな心を育み、地域を活気づけ、社会を健やかにしてくれます。

県といたしましては、この節目の年を次の10年を見据えた新たなスタートと考え、これまで以上に多くの県民の皆様に参加いただけることを目指し、芸術文化祭のさらなる発展のため、尽力してまいりたいと考えております。

結びに、本誌の発行にあたり、貴重な資料を御提供いただきました作家の方々をはじめ、文化団体や文化施設等、御協力いただきましたすべての関係者の皆様に対し厚く御礼申し上げます。

令和3年3月

滋賀県芸術文化祭会長
滋賀県知事

三田大造



ごあいさつ

令和2年(2020年)の年明けから、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい私たちの生活にも大きな影響が出ています。歌い、描き、創るという「あたりまえ」の文化芸術活動がこんなにも困難に感じられる時代が来るとは、誰も想像できませんでした。このような事態の中、「文化芸術の活動は絶対止めてはいけない」「できるだけ対策を講じながら、活動を続ける方法があるのではないかと、私どもの財団でも活動の継続を模索してきました。びわ湖ホールでは、オペラ『神々の黄昏』の公演を取り止めるのではなく、映像配信に急遽切り替えたところ、全世界で視聴され、また初めてオペラに触れる方も多くおられたなど、予想以上の成果を得ました。

このような中、滋賀県芸術文化祭が50回を迎えました。令和2年の前半には県内外の公募展の中止が相次いで発表される中、9月開催の県写真展をはじめとする3つの公募展は、当初から開催を前提に準備を行い、消毒や密集を避ける対策など例年とは異なる対応をとり関係者のご協力をいただいて開催し、結果として全国の公募展の中でも早期での開催を無事終えることができました。

さて、昭和46年に創設された県芸術祭(※平成12年度より滋賀県芸術文化祭に改称)は、様々な文化芸術の催しを取り込む県内最大の祭典として主催事業や参加事業の内容を変えながら県民の皆様の活動とともに歩んでまいりました。芸術文化活動の大切さを改めて感じる今だからこそ、50回の歴史を刻んだ県芸術文化祭を継続していく必要性を改めて確認できたのではないかと思います。

この度、50回の歴史を振り返り、記念誌としてとりまとめました。芸術文化祭を通じて、鑑賞する機会の拡充と、参加する喜びを多くの県民の皆様と共有し、文化芸術活動が次代へ継承される一助となれば幸いです。

最後になりましたが、ご参加いただいた皆さまをはじめ、ご協力いただきました関係者各位に心からお礼申し上げます。

コロナに負けずに頑張ってください！

令和3年3月

滋賀県芸術文化祭実行委員会 委員長
公益財団法人びわ湖芸術文化財団 理事長
山 中 隆

目 次

滋賀県芸術文化祭について	1
滋賀県芸術文化祭50回記念事業	2
ポスター・パンフレット	3
美術部門委員会委員長挨拶・沿革	4
滋賀県美術展覧会受賞作品	5
滋賀県美術展覧会受賞者	8
文芸部門委員会委員長挨拶・沿革	12
滋賀県文学祭文芸講演会等の概要・作品集の発行	13
滋賀県文学祭受賞者	14
写真部門委員会委員長挨拶・沿革	19
滋賀県写真展覧会受賞作品	20
滋賀県写真展覧会受賞者	21
参加事業	23
過去の公演事業	24
滋賀県芸術文化祭組織要綱	25
滋賀県芸術文化祭実行委員会構成	26

滋賀県芸術文化祭について

第1回滋賀県芸術祭は「秋の静かなふんい気の中で、優れた芸術文化に親しみ鑑賞する機会を、広く県民に提供するとともに、県内の各種芸術文化関係者の意欲的な公演発表をうながして、郷土文化の創造と進展に寄与し、もって県民文化の向上をはかる」ことを目的として、昭和46年（1971年）、県および県教育委員会が各種芸術文化団体をはじめ関係各位の理解と協力を得て県下各地で開催された。

昭和47年（1972年）4月には、県社会教育課内に文化振興係が設置され、滋賀県芸術祭実行委員会の設置、企画、調整、運営の組織づくりが図られた。実行委員会の委員は、文化芸術団体の代表、市町村教育委員会の代表、県庁、県教育委員会事務局の関係者らによって構成され、併せて、美術、写真、文芸、音楽、演劇、伝承芸能、映画の部門委員会が設置された。事業については、主催者の行う「主催公演」、主催者が文化芸術団体に委嘱する「協賛公演」、芸術祭への参加を希望する者が実行委員会の承認を得て独自の企画によって実施する「参加公演」の3つで構成されることとなった。なお、この年は、県政100年を記念し、「県政百年記念第2回滋賀県芸術祭」の名称として開催された。

主催公演については、平成21年度まで、音楽祭やダンスフェスティバル、伝統文化の祭典、映画祭などが県内各地で開催されていた。参加事業は、県芸術文化祭を県民みんなのものとして文化芸術活動をより一層推進するため、県内に募集を行って開催している。また、現在の主催事業である美術展覧会および写真展覧会の入賞作品については、平成27年度まで県内の複数会場において展示していた。

滋賀県芸術祭は、第30回（平成12年度）に滋賀県芸術文化祭と改称された。

（参考）第1回滋賀県芸術祭主催公演・参加公演の概況

<主催公演>

部門	公演（行事）
式典	第1回滋賀県芸術祭開会式 第1回滋賀県芸術祭閉会式
美術	第10回滋賀県写真展覧会 第25回滋賀県美術展覧会 近代日本の素描展 安土桃山時代の文化展
音楽	平岡養一木琴コンサート 県民音楽のつどい
舞踊	チャイコフスキー東京バレエ団公演 「白鳥の湖」
映画	名画鑑賞会

<参加公演>

部門	公演（行事）
美術	第22回滋賀県花道展覧会
音楽	ユース・ミュージック・パレード 三曲演奏会 第40回大津管弦楽団定期演奏会 第11回滋賀県合唱祭
演劇	第1回滋賀県芸術祭参加詩吟大会 第1回滋賀県演劇祭
文芸	第21回滋賀文学祭

滋賀県芸術文化祭50回記念事業

1 滋賀県芸術文化祭50回記念賞の贈賞

主催事業3事業（美術展覧会・写真展覧会・文学祭）の記念賞として「滋賀県芸術文化祭50回記念賞」を授与。

2 「あわうみ若鮎俳句コンクール」

滋賀県芸術文化祭実行委員会の構成団体である滋賀文学会により、県内の高校生を対象とした俳句コンクールを実施。県内高等学校文芸部を中心とした呼びかけやSNS等を活用し、募集開催。

応募総数 186人（321句、16校）

審査結果 若鮎大賞：1句、知事賞：1句、
特選：9句、入選：15句

表彰式 令和2年11月8日（日）
（滋賀県立図書館大会議室）



表彰式：三日月知事

3 記念講演会の開催

50回を記念する講演会を実施。

日時 令和2年11月8日（日）

会場 滋賀県立図書館大会議室

演題 「近江と芭蕉～琵琶湖に魅せられた俳聖～」

講師 滋賀文学会会長・フォトエッセイスト
岡本光夫氏

入場者数 40人



記念講演会：岡本文学会会長

4 芸術文化祭に関連する図書資料の公開

芸術文化祭の主催事業や参加団体を中心とした文化活動に関連する冊子、文学祭における優秀作品を毎年収録する『滋賀文学』、滋賀県美術展覧会の50回を祝し発行された記念誌等を展示。

開催期間 令和2年11月5日（木）～29日（日） 滋賀県立図書館2階参考資料室

令和2年12月3日（木）～17日（木） 滋賀県庁新館2階県民情報室



公開の様子：滋賀県庁新館

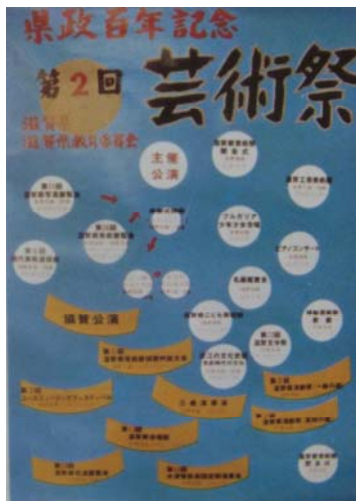


公開の様子：滋賀県立図書館

5 芸術文化祭50回の実績をたどる資料の作成

「滋賀県芸術文化祭50回記念誌」の発行

ポスター・パンフレット



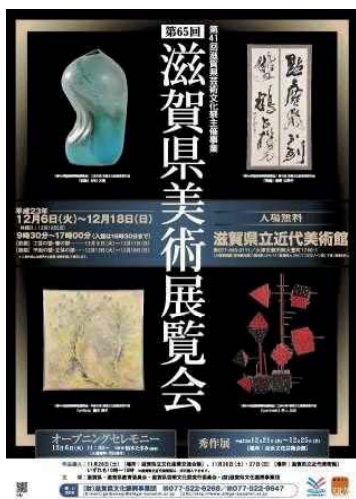
県政百年記念第2回芸術祭ポスター



第50回滋賀県芸術文化祭ポスター



第50回滋賀県芸術文化祭パンフレット



第65回滋賀県美術展覧会ポスター



第74回滋賀県美術展覧会ポスター



第51回滋賀県写真展覧会ポスター



第59回滋賀県写真展覧会ポスター



第64回滋賀県文学祭ポスター



第70回滋賀県文学祭ポスター

滋賀県美術展覧会

●美術部門委員会委員長挨拶

進化する滋賀県美術展覧会

滋賀県芸術文化祭美術部門委員会委員長
滋賀県美術協会理事長 神田 浩（浩山）

滋賀県芸術文化祭50周年誠におめでとうございます。「コロナ」の3文字に覆われた記念の年でしたが、様々な工夫をして記念事業を完遂されたことに敬意を表します。

「第74回滋賀県美術展覧会」もコロナ対策を種々講じて無事開催されただけでなく、3名のアートマスターが誕生、4部門の代表審査員の協議による50回記念賞の選出等、史上初の記録と記憶に残る「県展」となりました。芸術・文化にとって大変厳しい1年でしたが、様々な工夫を重ねて開催できたノウハウは、「WITHコロナ」のあり方を示す財産です。また、多くの出品や来場を得たことは、県民の皆様が芸術・文化の潤いが必要不可欠なものとして再認識された証左と言えましょう。

県展は戦後間もない、今よりもっと厳しい状況で産声を上げ発展して参りました。先人の労苦に思いを致し、コロナ禍で得たものを自信にして一層の発展・進化を期したいと念じております。

●沿革

昭和22年(1947年) 文化性豊かな国づくりの理想を掲げ、県内の美術作家を結集し、第1回滋賀県美術展覧会を開催。1週間で15,000人の来場者を得る。最高賞に文部大臣賞、それに次ぐ賞として知事賞、県会議長賞、特選を設定。計30点が入賞。

昭和24年(1949年) 最高賞が各部門とも県展賞に、それに次ぐものが特選となる。分野は日本画、洋画、彫塑、美術工芸の4部門。

昭和29年(1954年) 書部門を加え、総合美術展として開催。同年から佳作を新設。

昭和38年(1963年) 第17回展まで入場料金有料で展覧会を開催。

昭和46年(1971年) 県展賞が芸術祭賞に改称。

昭和50年(1975年) 県展の主会場が県内を回るようになる。(昭和61年(1986年)まで)

昭和57年(1982年) 部門が日本画と洋画が統合されて平面に、また彫塑は立体に変更。

平成3年(1991年) 無鑑査資格の廃止とともに賞金制度を導入。

平成12年(2000年) 最高賞の芸術祭賞が芸術文化祭賞に改称。

平成28年(2016年) 入賞を重ねる出品者の功績を顕彰する目的でアートマスター制を導入。

平成29年(2017年) 公平性・透明性を保つため公開審査を開始。

令和2年(2020年) 最高賞の芸術文化祭賞が知事賞に改称。初めて3名がアートマスターに昇格。

滋賀県美術展覧会 知事賞・芸術文化祭賞受賞作品（直近4ヶ年）

平面



第71回滋賀県美術展覧会(2017年)
芸術文化祭賞・「刻」田川 克美



第72回滋賀県美術展覧会(2018年)
芸術文化祭賞・「繫縛」田中 佑



第73回滋賀県美術展覧会(2019年)
芸術文化祭賞・「蟹気楼」森吉 恵一



第74回滋賀県美術展覧会(2020年)
知事賞・「4月の雨」植村 博志

立体



第71回滋賀県美術展覧会(2017年)
芸術文化祭賞・「海のかたち」大東 真也



第72回滋賀県美術展覧会(2018年)
芸術文化祭賞・「友人A (夏)」貫名 可采

立体 (つづき)



第73回滋賀県美術展覧会(2019年)
芸術文化祭賞・「風ガハコブモノ (I)」高崎 敏和



第74回滋賀県美術展覧会(2020年)
知事賞・「夏の少女-想-」岩崎 高志

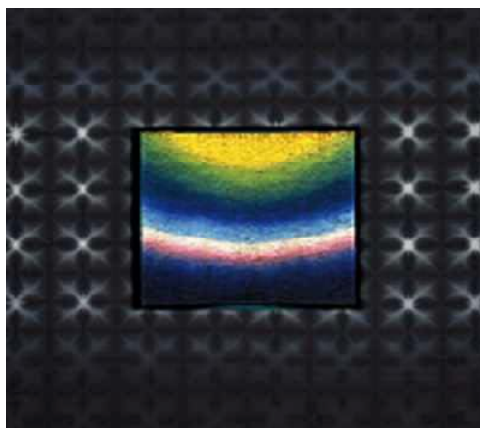
工芸



第71回滋賀県美術展覧会(2017年)
芸術文化祭賞・「烏瓜蒔絵食籠」太田 勲 太田 早百合



第72回滋賀県美術展覧会(2018年)
芸術文化祭賞・「硝子飾壺「影光」」市川 知也



第73回滋賀県美術展覧会(2019年)
芸術文化祭賞・「悠遠」木村 隆男



第74回滋賀県美術展覧会(2020年)
知事賞・「進化の刻」牛原 龍一

書



第71回滋賀県美術展覧会(2017年)
芸術文化祭賞・「才能」神戸 雅子



第72回滋賀県美術展覧会(2018年)
芸術文化祭賞・「白居易之詩」高井 敦史



第74回滋賀県美術展覧会(2020年)
知事賞・50回記念賞
「秋風」神戸 雅子



第73回滋賀県美術展覧会(2019年) 芸術文化祭賞・「風舞」松林 葵紅

アートマスター

美術展覧会では入賞を重ねる出品者の功績を顕彰する目的で、平成28年第70回展を機に「アートマスター制」を導入。アートマスターの称号を滋賀県芸術文化祭会長名（知事）で授与し、アートマスター昇格の翌年から5年間の委嘱発表の場を提供。

令和2年・アートマスター昇格者

- 立体 岩崎 高志 (写真:左)
- 工芸 藤井 誠治 (写真:右)
- 書 今居 青桃 (写真:中)



第74回滋賀県美術展覧会(2020年)
特選・「麒麟」今居 青桃



第74回滋賀県美術展覧会(2020年)
知事賞・「夏の少女-想-」岩崎 高志



第74回滋賀県美術展覧会(2020年)
特選・「秋」藤井 誠治

滋賀県美術展覧会

文部大臣奨励賞（文部大臣賞）、知事賞（芸術祭賞、芸術文化祭賞）受賞者

芸術文化祭回数、年度、美術展回数、会期、会場、賞名、作品名、氏名の順に記載しています。

- 1 1971(S46) 25 10.21～10.27 滋賀県立琵琶湖文化館
芸術祭賞・日本画:「犬上川」安土 優、洋画:「風景(A)」中村佳子、彫塑:「ある男」山下順一、
工芸:「ねぐら」辻川和子、書:「白居易の詩」池田和雄
- 2 1972(S47) 26 9.29～10.5 [日本画・彫塑] 大津市立膳所公民館 [洋画・工芸・書] 滋賀県立琵琶湖文化館
文部大臣奨励賞・日本画:「森」安土 優 芸術祭賞・日本画:「或る夕日の中に」野坂弘一郎、
洋画:「或日の浜」亀尾従道、彫塑:「少女」川原林たま、工芸:「森」口村和雄、
書:「五言絶句」青木正満
- 3 1973(S48) 27 10.19～10.28 [日本画・彫塑] 大津市立中央公民館 [洋画・工芸・書] 滋賀県立琵琶湖文化館
文部大臣奨励賞・洋画:「五月節句」中村悦子 芸術祭賞・日本画:「湖の伝説鷺の恩返し」鈴木節子、
洋画:「青い静物」市川嘉一、彫塑:「立女」成瀬修有、工芸:「湖影」鈴木茂至、
書:「菜根譚」三原 博
- 4 1974(S49) 28 [日本画・洋画・彫塑] 10.18～10.24 [工芸・書] 10.25～10.31 滋賀県立琵琶湖文化館
文部大臣奨励賞・彫塑:「黙」酒井嘉信 芸術祭賞・日本画:「近江昔話・花折峠」鈴木節子、
洋画:「夜まつり」角井廣司、彫塑:「私の友」下村孝之、工芸:「層雲峽」辻 喜久枝、
書:「李白之詩」杉原二三子
- 5 1975(S50) 29 [日本画・洋画・彫塑] 11.16～11.23 [工芸・書] 11.24～11.30 滋賀県立長浜文化芸術会館
文部大臣賞・工芸:「灰窯変鉢」神崎継春 芸術祭賞・日本画:「野辺」安土八重子、
洋画:「祭」森川利一、彫塑:「腕を組む女」後藤吉雄、工芸:「恵の精」北村雅有、
書:「羅」橘 香澄
- 6 1976(S51) 30 11.19～11.25 [日本画・洋画・書] 新旭町民体育館 [彫塑・工芸] 新旭町公民館
文部大臣奨励賞・書:「杜甫の詩」池田和雄 芸術祭賞・日本画:「化野」鈴木靖将、
洋画:「人物」西沢茂樹、彫塑:「円」清水滋子、工芸:「灰窯変鉢」神崎継春、
書:「梅堯臣の詩」前川 晋
- 7 1977(S52) 31 10.1～10.6 滋賀県立体育館
芸術祭賞・日本画:「うみと静物」大崎多実穂、洋画:「湖と沼の夜明」有田新次、
彫塑:「憩」川原林たま、工芸:「青い花器」今井道信、書:「漢詩」西川すて子
- 8 1978(S53) 32 10.14～10.22 水口町民体育館、甲賀郡民会館、水口町中央公民館
文部大臣奨励賞・日本画:「大津京炎上」鈴木靖将 芸術祭賞・日本画:「樹」西藤正雄、
洋画:「朝市」河原田博司、彫塑:「座女」廣瀬一行、工芸:「花の宴」黒川登陽子、
書:「芥川龍之介の詩」大道光堂
- 9 1979(S54) 33 10.18～10.26 栗東町民体育館
文部大臣賞・洋画:「画室」山川 實 芸術祭賞・日本画:「草臥」大橋忠司、洋画:「蓮田」田中修三、
彫塑:「初秋」北居丈範、工芸:「伸」河合慶治、書:「漢詩」寺田靖子
- 10 1980(S55) 34 10.2～10.10 [洋画・版画・彫塑・書] 五個荘町民体育館 [日本画・工芸] 五個荘町公民館
文部大臣奨励賞・彫塑:「ひろこ」竹谷邦夫 芸術祭賞・日本画:「爽」西藤正雄、洋画:「姉・弟」佐々木洋一、
彫塑:「此の道」嶋畑 貢、工芸:「調べ」河野榮一、書:「李賀の詩」前川 晋
- 11 1981(S56) 35 12.3～12.11 草津市民体育館
文部大臣奨励賞・工芸:「信楽花器(條)」鈴木茂至 芸術祭賞・日本画:「過ぎゆく私」大崎多実穂、
洋画:「土蔵の中の虫干し」中村悦子、彫塑:「天までとどけ」嶋畑 貢、工芸:「宵花」大場幸子、
書:「唐詩」北川裕子

- 12 1982(S57) 36 10.28~11.5 守山市民体育館
文部大臣奨励賞・書:「漢詩」小谷惇子 芸術祭賞・平面:「冬の芒」西藤正雄、平面:「霧の朝」魚尾正美、
立体:「眠り」竹谷邦夫、工芸:「影」朝比奈由起子、書:「歌一首」外村礼子
- 13 1983(S58) 37 10.20~10.28 伊香体育館
文部大臣奨励賞・平面:「湖水」田中修三 芸術祭賞・平面:「夏に想う」片桐さところ、立体:「女」酒井嘉信、
工芸:「景松」藤井 収、書:「杜牧の詩」前田康雄
- 14 1984(S59) 38 11.22~11.30 滋賀県立近代美術館
文部大臣奨励賞・立体:「置き忘れてきたもの」中森靖二 芸術祭賞・平面:「草原」谷口 弘、
立体:「シジフォス」小椋達也、工芸:「飛翔」青谷勤二、書:「漢詩」小谷惇子
- 15 1985(S60) 39 10.17~10.25 能登川町民スポーツセンター
文部大臣奨励賞・工芸:「碧に舞う」大場幸子 芸術祭賞・平面:「憩のひととき」一円丈夫、
立体:(該当者なし)、工芸:「水汲の女のいる風景」朝比奈由起子、
書:「漢詩句」小谷惇子
- 16 1986(S61) 40 11.14~11.22 甲西町総合体育館
文部大臣奨励賞・書:「李賀の詩」岡田優三 芸術祭賞・平面:「ふるさとの春」辻本總代、
立体:「Jの構造」佐々木昌夫、工芸:「青い幻想No.2」浜野良江、書:「李白の詩」小谷惇子
- 17 1987(S62) 41 前期 [平面・立体] 11.20~12.2 後期 [工芸・書] 12.5~12.17 滋賀県立近代美術館
文部大臣奨励賞・平面:「夕間暮」村岸卓三 芸術祭賞・平面:「罨田」市村裕志、
立体:「我思うに」三原敏夫、工芸:「雲連」大久保弥一、書:「寒山詩」疋田依子
- 18 1988(S63) 42 11.19~11.30 滋賀県立文化産業交流会館
文部大臣奨励賞・立体:「箱の中で」佐々木昌夫 芸術祭賞・平面:「束縛への案内状」谷口貞久、
立体:「村の長Y氏像」山田清治、工芸:「石路」尾山都世子、書:「李賀の詩」辻 律子
- 19 1989(H 1) 43 前期 [工芸・書] 11.18~11.24 後期 [平面・立体] 11.26~12.3 滋賀県立近代美術館
芸術祭賞・平面:「遠い日の記憶」森本貞代、立体:「単位弦」中島秀樹、工芸:「印文大皿」嶋田浩造、
書:「幽静」雲山和良
- 20 1990(H 2) 44 11.17~11.29 滋賀県立文化産業交流会館
芸術祭賞・平面:「焼却炉(蘇生)B」平 育子、立体:「たま先生」井海もも代、
工芸:「炎色壺」加藤 肇、書:「劉得仁詩」雲山和良
- 21 1991(H 3) 45 前期 [平面・立体] 11.17~11.24 後期 [工芸・書] 11.26~12.3 滋賀県立近代美術館
芸術祭賞・平面:「時の果てに」大嶋敏子、立体:「復活~再生」鈴木典明、
工芸:「印華」神田武司、書:「暁雁連天寒叫霜」神野久美子
- 22 1992(H 4) 46 11.15~11.26 滋賀県立文化産業交流会館
芸術祭賞・平面:「新生」長島秀夫、立体:「青春譜」山田良定、工芸:「壺」山本昌弘、
書:「漢詩」山田祥代
- 23 1993(H 5) 47 前期 [工芸・書] 12.4~12.8 後期 [平面・立体] 12.10~12.15 滋賀県立近代美術館
芸術祭賞・平面:「死と猿と乙女(その1)」クレイトン・マルカム、
立体:「海が見たかった」白崎 徹、
工芸:「原動力」武田敦子、書:「漢詩」山田祥代
- 24 1994(H 6) 48 11.20~12.1 滋賀県立文化産業交流会館
芸術祭賞・平面:「足元」伊庭広人、立体:「入道雲」高崎敏和、工芸:「幼き日の記憶II」平井恵子、
書:「堂成る(杜甫詩)」小谷惇子
- 25 1995(H 7) 49 前期 [工芸・書] 12.2~12.8 後期 [平面・立体] 12.10~12.17 滋賀県立近代美術館
芸術祭賞・平面:「森羅万象一鳩一」山中章寛、立体:「涼風」高崎敏和、
工芸:「構成一その1一」廣田千恵、書:「人間萬歳」梶岡昌子

- 26 1996(H 8) 50 11.17～11.28 滋賀県立文化産業交流会館
 芸術祭賞・平面:「バザール」竹本洋子、立体:「青春のリズム」曹 湘賢、工芸:「緑夢Ⅱ」平井恵子、
 書:「呉文泰詩」山田祥代
- 27 1997(H 9) 51 前期 [平面・立体] 11.22～11.28 後期 [工芸・書] 11.30～12.7 滋賀県立近代美術館
 芸術祭賞・平面:「朝」小山美和子、立体:「やんちゃむすめ」北村隆行、
 工芸:「間」山本昌弘、書:「梅堯臣詩一節」神田 浩
- 28 1998(H10) 52 11.21～11.29 滋賀県立文化産業交流会館
 芸術祭賞・平面:「やすらぎの境界」大森 啓、立体:「天の兵車」武田克史、
 工芸:「マンドリンを持つ娘」友政まり子、書:「變和六合康樂万年」猪飼宜妙
- 29 1999(H11) 53 前期 [工芸・書] 11.20～11.26 後期 [平面・立体] 11.28～12.5 滋賀県立近代美術館
 芸術祭賞・平面:「誓い」小山美和子、立体:「明石の人Ⅰ」伊庭靖二、
 工芸:「砂泥彩器」山本昌弘、書:「面影」松沢麻美
- 30 2000(H12) 54 11.18～11.26 滋賀県立文化産業交流会館
 芸術文化祭賞・平面:「午後」小山万亀子、立体:「静寂」伊庭靖二、
 工芸:「セビリヤの女」友政まり子、書:「漢詩」長田千鶴子
- 31 2001(H13) 55 前期 [平面・立体] 11.24～11.30 後期 [工芸・書] 12.2～12.9 滋賀県立近代美術館
 芸術文化祭賞・平面:「記憶(地上の星)」石橋国夫、立体:「Power-Ring」井上圭三、
 工芸:「交錯する時の中で」金井大輔、書:「漢詩」一井美津子
- 32 2002(H14) 56 10.26～11.4 滋賀県立文化産業交流会館
 芸術文化祭賞・平面:「ひこうき雲」一道万羅、立体:「夏の予感」志萱州朗、
 工芸:「清流」藤井 収、書:「江戸千代紙文様」田中和子
- 33 2003(H15) 57 前期 [平面・立体] 11.22～11.28 後期 [工芸・書] 11.30～12.7 滋賀県立近代美術館
 芸術文化祭賞・平面:「つばさの生える時(Ⅰ)」吉岡ちえこ、立体:「湖が聞こえる」福留 諭、
 工芸:「想Ⅱ」木村隆男、書:「ほろよい」猪飼宜妙
- 34 2004(H16) 58 11.13～11.21 滋賀県立文化産業交流会館
 芸術文化祭賞・平面:「刻Ⅱ」久川邦代、立体:「夏の日」石田秋次、
 工芸:「縄文の鳥」加藤敏雄、書:「商ト文集百詩文」横江登喜子
- 35 2005(H17) 59 11.26～12.11 滋賀県立近代美術館
 芸術文化祭賞・平面:「漂・流・tai」野淵 博、立体:「立つ」伊庭靖智、
 工芸:「ORIGIN」辻 恵子、書:「明鏡台」猪飼宜妙
- 36 2006(H18) 60 前期 [平面・立体] 11.25～12.1 後期 [工芸・書] 12.3～12.10 滋賀県立近代美術館
 芸術文化祭賞・平面:「ケニア・サバンナの休息」小島恵美子、立体:「湖風の中」志萱州朗、
 工芸:「記憶」新庄育子、書:「風煙」青木光青
- 37 2007(H19) 61 前期 [工芸・書] 11.24～11.30 後期 [平面・立体] 12.2～12.9 滋賀県立近代美術館
 芸術文化祭賞・平面:「豊穰」須崎真智子、立体:「福井の人」伊庭靖二、
 工芸:「Recycle Town」丸山敦子、書:「漢詩句」北川雅子
- 38 2008(H20) 62 前期 [平面・立体] 12.9～12.14 後期 [工芸・書] 12.16～12.21 滋賀県立近代美術館
 芸術文化祭賞・平面:「ミチクサ」小泉広明、立体:「犬」田中一樹、工芸:「遠望」木村隆男、
 書:「張問陶詩一節」松永大樹
- 39 2009(H21) 63 前期 [工芸・書] 12.1～12.6 後期 [平面・立体] 12.8～12.13 滋賀県立近代美術館
 芸術文化祭賞・平面:「One's eyes」岡本里栄、立体:「あきしのⅥ」伊庭靖二、
 工芸:「銀彩の秋象」加藤敏雄、書:「神の手」猪飼宜妙

- 40 2010(H22) 64 前期 [平面・立体] 11.30～12.5 後期 [工芸・書] 12.7～12.12 滋賀県立近代美術館
芸術文化祭賞・平面:「anitya」藤本達子、立体:「contrast」井上三央、工芸:「流跡」杉村大樹、
書:「双鶴」森野公美子
- 41 2011(H23) 65 前期 [工芸・書] 12.6～12.11 後期 [平面・立体] 12.13～12.18 滋賀県立近代美術館
芸術文化祭賞・平面:「さあ、今、ここから・・・」田中知子、立体:「月夜に想うⅡ」伊庭靖二、
工芸:「進化の刻」牛原龍一、書:「菜根譚」中村重之
- 42 2012(H24) 66 前期 [平面・立体] 12.4～12.9 後期 [工芸・書] 12.11～12.16 滋賀県立近代美術館
芸術文化祭賞・平面:「彼方の庭 一椿Ⅰ」塩賀史子、立体:「覚醒」田中一樹、
工芸:「聖火・時を超えて」藤本圭子、書:「友」中村重之
- 43 2013(H25) 67 前期 [工芸・書] 12.3～12.8 後期 [平面・立体] 12.10～12.15 滋賀県立近代美術館
芸術文化祭賞・平面:「泡沫」織田みき、立体:「Never give up」森三智子、
工芸:「流彩」木村隆男、書:「歳朝を楽しむ」猪飼朱実
- 44 2014(H26) 68 前期 [平面・立体] 12.2～12.7 後期 [工芸・書] 12.9～12.14 滋賀県立近代美術館
芸術文化祭賞・平面:「夕映」植村博志、立体:「surface-思考と感情の行きかうところ-」奥田誠一、
工芸:「躍動」長谷川信子、書:「王洪詩」辻洋虹
- 45 2015(H27) 69 前期 [工芸・書] 12.1～12.6 後期 [平面・立体] 12.8～12.13 滋賀県立近代美術館
芸術文化祭賞・平面:「幸せさがし」日浅順子、立体:「晴れた日に」西見智之、
工芸:「宇宙の輝き」千野久子、書:「帰りなんいざ」本城研石
- 46 2016(H28) 70 前期 [平面・立体] 12.6～12.11 後期 [工芸・書] 12.13～12.18 滋賀県立近代美術館
芸術文化祭賞・平面:「メリークリスマス」井上壽子、立体:「チャレンジャー」山中貞之、
工芸:「漆黒呂(鳥箱)」藤井誠治、書:「沙羅双樹の花」今居青桃
- 47 2017(H29) 71 8.13～8.19 滋賀県立文化産業交流会館
芸術文化祭賞・平面:「刻」田川克美、立体:「海のかたち」大東真也、
工芸:「烏瓜蒔絵食籠」太田勲・太田早百合、書:「才能成」神戸雅子
- 48 2018(H30) 72 11.8～11.14 滋賀県立文化産業交流会館
芸術文化祭賞・平面:「繫縛」田中佑、立体:「友人A(夏)」貫名可采、
工芸:「硝子飾壺「影光」」市川知也、書:「白居易之詩」高井敦史
- 49 2019(R 1) 73 11.14～11.20 滋賀県立文化産業交流会館
芸術文化祭賞・平面:「蜃気楼」森吉恵一、立体:「風ガハコブモノ(Ⅰ)」高崎敏和、
工芸:「悠遠」木村隆男、書:「風舞」松林葵紅
- 50 2020(R 2) 74 11.12～11.18 滋賀県立文化産業交流会館
知事賞・平面:「4月の雨」植村博志、立体:「夏の少女-想-」岩崎高志、
工芸:「進化の刻」牛原龍一、書:「秋風」神戸雅子
(参考) 滋賀県芸術文化祭50回記念賞・書:「秋風」神戸雅子

(敬称略)

滋賀県文学祭

● 文芸部門委員会委員長挨拶

軌跡を未来に

滋賀県芸術文化祭文芸部門委員会委員長
滋賀文学会会長 岡本 光夫

滋賀県芸術文化祭が50回を迎えました。関係者の長年のご尽力に感謝を申し上げます。

この県芸術文化祭の事業のひとつであります滋賀県文学祭も70回の節目となりました。

昭和26年、滋賀文学会の発足と併せて開催された「第1回文芸コンクール」が契機となり、翌年「滋賀県文学祭」と改称され、今日に至っています。県民を対象とする文芸8部門の総合的な文学祭は、全国でも稀で、誇ることのできる文芸事業となっています。

古来より琵琶湖を中心とする豊饒な近江に培われてきた文学風土を、子々孫々へと伝えていくうえで、滋賀県文学祭という「ゆりかご」を、今後ともたいせつに育てていきたいと考えています。創作する楽しみを若い世代へと広げながら、より多くの皆様方が創作を通して、自らの生きた軌跡を表現できる機会となりますよう、おおいに期待しています。

● 沿革

昭和26年（1951年） 滋賀文学会が設立。同年「第1回滋賀県文芸コンクール」を開催。

昭和27年（1952年） 「滋賀文学祭」と改称。

昭和46年（1971年） 第1回滋賀県芸術祭（第21回滋賀文学祭）は、芸術祭参加公演（行事）として開催。創作、随筆・評論、詩、短歌、俳句、川柳、冠句、情歌の8部門に525点の応募があり、入賞34点、入選86点の作品を選出。

昭和47年（1972年） 第2回滋賀県芸術祭を、芸術祭主催公演（行事）として実施。創作部門を小説部門と改称。応募が722点、入賞40点、入選122点が選出され応募数は1.38倍に増加。同年から、優秀作品の作品集「滋賀文学」に小説や随筆も追加掲載。

昭和48年（1973年） 第3回滋賀県芸術祭から、随筆・評論部門を随筆部門と改称。

昭和49年（1974年） 第4回滋賀県芸術祭からは、「滋賀県文学祭」と改称。

昭和62年（1987年） 作詞部門新設、現在も継続。

平成2年（1990年）から平成21年（2009年）まで、随筆部門を随筆・評論部門と改称。その後随筆部門に戻す。

平成11年（1999年） 童話部門新設、平成29年（2017年）まで開催。

平成28年（2016年） この年を最後に、情歌部門を廃止。

滋賀県文学祭表彰式当日には賞の授与を行うほか、各部門毎で選者との懇談会が行われるとともに、文芸講演会も実施している。

滋賀県文学祭 文芸講演会等の概要・作品集の発行

文芸講演会の開催

表彰式当日には賞の授与を行うほか、どなたでも聴講いただける文芸講演会を開催。



昭和50年度



令和2年度

選者（審査員）との懇談会

表彰式の開催後、選者と出品者、参加希望者相互が交流できる懇談会を開催。

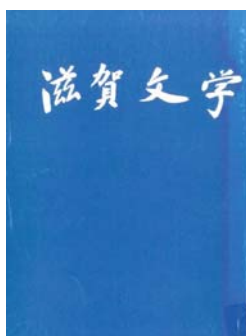


平成27年度



平成29年度

作品集「滋賀文学」の発行



昭和48年度発行



昭和53年度発行



平成12年度発行



令和2年度発行

滋賀県文学祭

知事賞（芸術祭賞、芸術文化祭賞）受賞者 ※第1回は芸術祭奨励賞受賞者

芸術文化祭回数、年度、文学祭回数、賞名、分野、氏名、講演会・表彰式開催日、会場、講師の順に記載しています。

- 1 1971(S46) 21 芸術祭奨励賞・創作：西村佳津、随筆評論：猪上かよ子、詩：宇田良子、俳句：清水 稔
表彰式 開催日：11.3 会場：滋賀会館
- 2 1972(S47) 22 芸術祭賞・小説：中村径代、随筆評論：野田和子、詩：北川縫子、短歌：皇 邦子、
俳句：嶋村篤治、川柳：高橋文暁、冠句：堀井俊行、情歌：増田重次郎
表彰式 開催日：11.5 会場：滋賀会館
- 3 1973(S48) 23 芸術祭賞・小説：西浦裕子、随筆：多田野人、詩：沢田弘行、短歌：榎並太一郎、
俳句：善村珠子、川柳：田中正坊、冠句：萬木敏和、情歌：堀井俊行
表彰式・講演会 開催日：11.4 会場：守山市立中央公民館 講師：作家 花登 筐
- 4 1974(S49) 24 芸術祭賞・小説：中沢凡骨、随筆：猪上かよ子、詩：北川 縫子、短歌：南 灯二、
俳句：伊香蒼水、川柳：江村青帆、冠句：小島文花、情歌：鳥塚義太
表彰式・講演会 開催日：11.4 会場：彦根市民会館 講師：作家 大原富枝
- 5 1975(S50) 25 芸術祭賞・小説：安部良典、随筆：小田輝子、詩：尾崎与里子、短歌：鎌田みつ子、
俳句：保木春翠、川柳：大橋一正、冠句：北川白峰子、情歌：鳥塚義太
表彰式・講演会 開催日：11.9 会場：滋賀会館 講師：伊藤桂一
- 6 1976(S51) 26 芸術祭賞・小説：吉永二一郎、随筆：早崎流泉、詩：尾崎与里子、短歌：平田和子、
俳句：堺 浮堂、川柳：笠川嘉一、冠句：森田志峰、情歌：前川笑山
講演会・表彰式 開催日：11.7 会場：長浜商工会議所 講師：永井路子
- 7 1977(S52) 27 芸術祭賞・小説：黒野和子、随筆：皇 邦子、詩：井上弥寿夫、短歌：重田喜久、
俳句：前川掬慈、川柳：青木十九郎、冠句：山本水守、情歌：塚本種右衛門
講演会・表彰式 開催日：11.3 会場：大津市民会館 講師：岡部伊都子、入江徳郎
- 8 1978(S53) 28 芸術祭賞・小説：西村佳津、随筆：小田輝子、詩：中村三千代、短歌：丸岡亜希子、
俳句：山本太喜男、川柳：滝津白舟、冠句：萬木和楽、情歌：川合安士
講演会・表彰式 開催日：11.5 会場：彦根市民会館 講師：瀬戸内晴美
- 9 1979(S54) 29 芸術祭賞・小説：中村憲雄、随筆：小田輝子、詩：森 哲弥、短歌：藤井美佐子、
俳句：村田とく、川柳：吉田純造、冠句：丸山元一郎、情歌：服部格宗
講演会・表彰式 開催日：11.23 会場：彦根市民会館 講師：今 日出海
- 10 1980(S55) 30 芸術祭賞・小説：湊 令子、随筆：小田輝子、詩：安部寿子、短歌：田中吏由子、
俳句：松野緑風、川柳：饗場とみ、冠句：斉藤春帆、情歌：樋口白蛾
講演会・表彰式 開催日：11.23 会場：滋賀会館 講師：高田敏子
- 11 1981(S56) 31 芸術祭賞・小説：安部良典、随筆：藤本 勉、詩：武部治代、短歌：小西光雄、
俳句：岩垣伯峰、川柳：中嶋百合子、冠句：小西木石、情歌：百々清水
講演会・表彰式 開催日：11.22 会場：滋賀県立八日市文化芸術会館 講師：若城希伊子
- 12 1982(S57) 32 芸術祭賞・小説：田中美津子、随筆：藤本愛子、詩：森田郁子、短歌：林 美代子、
俳句：奥村菩提子、川柳：吉田純造、冠句：関目ひで、情歌：土田時夫
講演会・表彰式 開催日：11.7 会場：滋賀会館 講師：依田義賢
- 13 1983(S58) 33 芸術祭賞・小説：藤田ミヨコ、随筆：藤本愛子、詩：武部治代、短歌：清水美子、
俳句：大木紅衣、川柳：吉田純造、冠句：木村みよ、情歌：沢村柳水
講演会・表彰式 開催日：11.3 会場：滋賀県立水口文化芸術会館 講師：高城修三

- 14 1984(S59) 34 芸術祭賞・小説：藤田ミヨコ、随筆：早藤貞二、詩：森 哲弥、短歌：沢井栄子、
俳句：村川貞子、川柳：饗場とみ、冠句：前川輔司、情歌：天野俊子
講演会・表彰式 開催日：11.23 会場：滋賀会館 講師：山口玲子
- 15 1985(S60) 35 芸術祭賞・小説：木村泰崇、随筆：宮川道子、詩：三和愛子、短歌：谷口すえ、
俳句：山本はる、川柳：徳田孝子、冠句：村田孝一、情歌：小林美津子
講演会・表彰式 開催日：11.10 会場：滋賀会館 講師：中村 努
- 16 1986(S61) 36 芸術祭賞・小説：田中美津子、随筆：早藤貞二、詩：寺田由紀子、短歌：木村和子、
俳句：北川しず、川柳：今井胡次郎、冠句：岩本昭一、情歌：橋村孝助
講演会・表彰式 開催日：11.9 会場：滋賀会館 講師：今野信雄
- 17 1987(S62) 37 芸術祭賞・小説：藤田ミヨコ、随筆：飯田若子、詩：内堀芳雄、作詞：下村正勝、
短歌：大原キヨ、俳句：吉川和子、川柳：畑中義司、冠句：伊崎俊三、
情歌：雨森大作
講演会・表彰式 開催日：11.23 会場：彦根市民会館 講師：彦根城博物館館長 井伊正弘
- 18 1988(S63) 38 芸術祭賞・小説：畑 裕子、随筆：岡本光夫、詩：中村径代、作詞：山崎 隆、
短歌：西田勘三、俳句：伊藤八重子、川柳：能仁澄子、冠句：沢 光男、
情歌：土田南秋
講演会・表彰式 開催日：11.20 会場：滋賀県立文化産業交流会館 講師：詩人 相馬 大
- 19 1989(H 1) 39 芸術祭賞・小説：畑 裕子、随筆：早藤貞二、詩：久保和友、作詞：福山幸雄、
短歌：藤田道子、俳句：西野すず、川柳：峯 裕見子、冠句：大野英太郎、
情歌：柿木白羊
講演会・表彰式 開催日：11.19 会場：滋賀県立草津文化芸術会館 講師：歌人 山田平一郎
- 20 1990(H 2) 40 芸術祭賞・小説：中村 覚、随筆・評論：岡本光夫、詩：大岡佐知子、作詞：伊藤百合子、
短歌：木村光子、俳句：岡地京子、川柳：上羽みき枝、冠句：野田愛子、
情歌：森野岩龍
講演会・表彰式 開催日：11.23 会場：滋賀会館 講師：詩人 杉山平一
- 21 1991(H 3) 41 芸術祭賞・小説：中村憲雄、随筆・評論：大岡 宏、詩：澤田弘行、作詞：桐畑 忍、
短歌：安原律子、俳句：澤田道子、川柳：西川美和子、冠句：中西康治、
情歌：北川白峰子
講演会・表彰式 開催日：11.23 会場：彦根市民会館 講師：歌人 三品千鶴
- 22 1992(H 4) 42 芸術祭賞・小説：畑 裕子、随筆・評論：岡本光夫、詩：森 哲弥、作詞：檜原せつ子、
短歌：中江よね、俳句：山田正雄、川柳：上羽みき枝、冠句：小倉 清、
情歌：堀井みすの
- 23 1993(H 5) 43 芸術祭賞・小説：藤本弘子、随筆・評論：毛利芳子、詩：今森真弓、作詞：辻川修治、
短歌：林 美代子、俳句：森川紀子、川柳：村瀬幹子、冠句：馬場せつ子、
情歌：辻 八重子
- 24 1994(H 6) 44 芸術祭賞・小説：中村 覚、随筆・評論：三宅友三郎、詩：斗見茶湖、作詞：井上久雄、
短歌：小野和子、俳句：中井戸かず枝、川柳：中嶋ひろむ、冠句：天野美紀、
情歌：中山喜久治
講演会・表彰式 開催日：11.23 会場：滋賀県立草津文化芸術会館 講師：乾 憲雄
- 25 1995(H 7) 45 芸術祭賞・小説：藤本弘子、随筆・評論：筒井和彦、詩：成田あかり、作詞：林 博通、
短歌：木村光子、俳句：中正美佐子、川柳：中嶋ひろむ、冠句：沢田道子、
情歌：山路清山
講演会・表彰式 開催日：11.26 会場：滋賀県立草津文化芸術会館

- 26 1996(H 8) 46 芸術祭賞・小説:井上次雄、随筆・評論:吉村紀子、詩:木村 央、作詞:井上久雄、
短歌:垣見珠江、俳句:奥村道枝、川柳:能仁澄子、冠句:中村せつ、
情歌:隠岐 稔
講演会・表彰式 開催日:11.24 会場:滋賀県立草津文化芸術会館
講師:NHK文芸川柳選者 森中恵美子
- 27 1997(H 9) 47 芸術祭賞・小説:杉山啓志、随筆・評論:筒井和彦、詩:木村 央、作詞:米田婦美子、
短歌:小林久子、俳句:森 ふみ子、川柳:徳永政二、冠句:高畑祐里子、
情歌:廣瀬悠紀子
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:近江八幡市文化会館
講師:(財)丸岡町文化振興事業団 事務局長 大廻政成
- 28 1998(H10) 48 芸術祭賞・小説:井上次雄、随筆・評論:山口育子、詩:園田敦子、作詞:寺田すゑ子、
短歌:石川弘子、俳句:三崎青波、川柳:畑山美幸、冠句:中村はるゑ、
情歌:伊崎緑風
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:近江八幡市文化会館 講師:歴史作家 池内昭一
- 29 1999(H11) 49 芸術祭賞・小説:小野栄吉、随筆・評論:吉村紀子、童話:樋口てい子、詩:木村 央、
作詞:中川喜一郎、短歌:栗田実国、俳句:八里秀子、川柳:徳永政二、
冠句:熊木 順、情歌:草野朗笑
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:近江八幡市文化会館 講師:詩人 島田陽子
- 30 2000(H12) 50 芸術文化祭賞・小説:山口 一、随筆・評論:辻川修治、童話:八木ふよう、詩:宇坂慎次、
作詞:穹 環、短歌:寺田 新一郎、俳句:奥村道枝、川柳:峯 裕見子、
冠句:大川巴羊、情歌:丸山蛙声
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:ピアザ淡海 講師:文芸評論家 饗庭孝男
- 31 2001(H13) 51 芸術文化祭賞・小説:小野栄吉、随筆・評論:外村淳吉、童話:上田英津子、詩:谷口明美、
作詞:安見みち子、短歌:真崎陽子、俳句:井上千代、川柳:徳永政二、
冠句:大西貴代子、情歌:熊木 順
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:野洲町立文化小劇場 講師:日本大学教授 栗田 靖
- 32 2002(H14) 52 芸術文化祭賞・小説:木村泰崇、随筆・評論:宮川礼子、童話:大西敦子、詩:宇坂慎次、
作詞:奥村一郎、短歌:小林久子、俳句:石本美儀、川柳:遠山あきら、
冠句:野田愛子、情歌:雨森露酔
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:栗東芸術文化会館さきら
講師:奈良女子大学教授 坂本信幸
- 33 2003(H15) 53 芸術文化祭賞・小説:服部光一、随筆・評論:山森ふさ子、童話:潮田眞弓、詩:高森康介、
作詞:三千院高穂、短歌:角田はる、俳句:堤 ゆき子、川柳:安井茂樹、
冠句:草野朗笑、情歌:草野朗笑
講演会・表彰式 開催日:11.24 会場:栗東芸術文化会館さきら
講師:(株)PHP研究所副社長 江口克彦
- 34 2004(H16) 54 芸術文化祭賞・小説:山口 一、随筆・評論:古道紀美子、童話:安積コウ、詩:谷 敏子、
作詞:福山幸雄、短歌:西田ふじ子、俳句:藤田幸子、川柳:長尾てまり、
冠句:渡辺君子、情歌:丸山晶美
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:野洲町立文化小劇場
講師:京都市立芸術大学長 中西 進
- 35 2005(H17) 55 芸術文化祭賞・小説:桑嶋ミキト、随筆・評論:丹羽和代、童話:木下和真、詩:富江勝也、
作詞:文室正子、短歌:山本 静、俳句:西村琴月、川柳:能仁澄子、
冠句:野入幹司、情歌:草野喜久子
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:園田学園女子大学教授 福島昭治

- 36 2006 (H18) 56 芸術文化祭賞・小説:富江勝也、随筆・評論:長 朔男、童話:木下和真、詩:富江勝也、
作詞:石崎勝子、短歌:赤田恒夫、俳句:長瀬富士子、川柳:山野博子、
冠句:辻本恵一、情歌:丸山蛙声
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:歌人 京都大学教授 永田和宏
- 37 2007 (H19) 57 芸術文化祭賞・小説:中井二三雄、随筆・評論:板谷明香、童話:ほんだ まん、詩:だい あきら、
作詞:大谷のり子、短歌:稲垣 隆、俳句:若松 司、川柳:遠山あきら、
冠句:澤本暖流、情歌:小嶋 信
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:園田学園女子大学教授 福嶋昭治
- 38 2008 (H20) 58 芸術文化祭賞・小説:小林勝一、随筆・評論:木村泰崇、童話:こうまる みずほ、詩:久保穂子、
作詞:寺田すゑ子、短歌:村岸千鶴子、俳句:馬場佐喜子、川柳:矢島玖美子、
冠句:谷 柳好、情歌:渡邊君子
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:ジャーナリスト 大谷昭宏
- 39 2009 (H21) 59 芸術文化祭賞・小説:佐藤水楊、随筆・評論:水樹周一郎、童話:潮田眞弓、詩:光矢衣織、
作詞:北村幸子、短歌:雨森正高、俳句:馬場美也子、川柳:竹井紫乙、
冠句:木村知恵子、情歌:廣瀬悠紀子
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:滋賀短期大学名誉教授 増井金典
- 40 2010 (H22) 60 芸術文化祭賞・小説:杉山啓志、随筆:長 朔男、童話:甲津俊子、詩:真田かずこ、
作詞:三千院高穂、短歌:石川麻子、俳句:福家 淑、川柳:木村正夫、
冠句:藤本淡雪、情歌:廣瀬悠紀子
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:歴史小説作家 羽生道英
- 41 2011 (H23) 61 芸術文化祭賞・小説:大西敦子、随筆:安部潤子、童話:富田一 一、詩:島田照世、
作詞:いしざき かつこ、短歌:初田由喜子、俳句:笹倉照代、川柳:泉 紅実、
冠句:小林清次郎、情歌:黒川房子
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター 講師:作家 畑 裕子
- 42 2012 (H24) 62 芸術文化祭賞・小説:木村泰崇、随筆:桂田孝司、童話:小林勝一、詩:成田あかり、
作詞:三千院高穂、短歌:寺下吉則、俳句:櫻井雅子、川柳:北村幸子、
冠句:松村晴耕、情歌:熊木 順
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:児童文学作家 今関信子
- 43 2013 (H25) 63 芸術文化祭賞・小説:妹尾 要、随筆:山森ふさ子、童話:草香恭子、詩:馬淵兼一、
作詞:高山真由実、短歌:福山幸雄、俳句:石本美儀、川柳:畑山美幸、
冠句:安居清七、情歌:廣瀬悠紀子
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター 講師:随筆家 岡本光夫
- 44 2014 (H26) 64 芸術文化祭賞・小説:小野栄吉、随筆:藤本弘子、童話:樋口てい子、詩:園田敦子、
作詞:叶 恋、短歌:大西由男、俳句:石川治子、川柳:大谷のり子、
冠句:澤本暖流、情歌:廣瀬悠紀子
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:詩人・翻訳家 薬師川虹一
- 45 2015 (H27) 65 芸術文化祭賞・小説:中原 遊、随筆:榊原洋子、童話:村井由美子、詩:西中奈緒、
作詞:いとうかおる、短歌:我孫子紀郎、俳句:北村美代子、川柳:山本知佳子、
冠句:渡邊君子、情歌:高山清子
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:詩人・作詞家 竹内正企

- 46 2016(H28) 66 芸術文化祭賞・小説:松本匡代、随筆:榊原洋子、童話:岸 栄吾、詩:榊 慧、
作詞:高山清子、短歌:中道節子、俳句:宮田絵衣子、川柳:片山美津子、
冠句:廣瀬悠紀子、情歌:福山幸雄
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター 講師:歌人 林 和清
- 47 2017(H29) 67 芸術文化祭賞・小説:佐藤駿司、随筆:福崎真由美、童話:富田直子、詩:島田照世、
作詞:叶 恋、短歌:寺下吉則、俳句:清水 徹、川柳:安井茂樹、
冠句:宮田美津子
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:教育クリエイター 吉永幸司
- 48 2018(H30) 68 芸術文化祭賞・小説:安積こう、随筆:榊原洋子、詩:島田照世、作詞:いとう かおる、
短歌:平居玲子、俳句:尾崎恵子、川柳:今井和子、冠句:小森和美
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:川柳作家 笠川嘉一
- 49 2019(R 1) 69 芸術文化祭賞・小説:阪本博史、随筆:山森ふさ子、詩:梶谷佳弘、作詞:叶 恋、
短歌:太田澄子、俳句:石川治子、川柳:上田寿美、冠句:笠原玲子
講演会・表彰式 開催日:11.24 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:現代俳句協会副幹事長 網野月を
- 50 2020(R 2) 70 知事賞・小説:古橋童子、随筆:榊原洋子、詩:谷口明美、作詞:高橋真由実、
短歌:幅尾茂隆、俳句:前川菅子、川柳:宇野弘子、冠句:濱田さおり
(参考) 滋賀県芸術文化祭50回記念賞・俳句:山口絢子
講演会・表彰式 開催日:11.23 会場:滋賀県立男女共同参画センター
講師:NPO法人歴史資源開発機構ヘリテージマイスター
・元滋賀県立安土城考古博物館副館長 大沼芳幸

(敬称略)

滋賀県写真展覧会

●写真部門委員会委員長挨拶

滋賀県芸術文化祭50年の歩み

滋賀県芸術文化祭写真部門委員会委員長
滋賀県写真連盟会長 澤野 二郎

発足50年、素晴らしい足跡、並々ならぬご尽力があつての今日を感謝いたします。

滋賀県写真連盟は昭和30年(1955年)写真文化の向上のため、団体相互の協力ならびに親睦をはかることを目的とし県下市町村単位の写真団体で組織し誕生しました。

毎年開催されていた「滋賀県美術展覧会」の一部門として写真を加えてはと、昭和32年(1957年)頃県の担当者から話がありましたが、検討の結果独立した展覧会として待望の「滋賀県写真展覧会」が昭和37年(1962年)琵琶湖文化館で開催出来ました。

記憶に残るのは、昭和61年(1986年)「湖国百景」が滋賀県から発行。風景解説は谷口布由緒氏で絵画は滋賀県美術協会、写真は滋賀県写真連盟が担当し216頁の立派な一冊を後世に残すことが出来ました。会員が集い持ち寄った作品、一団体の活動でなく他分野との芸術文化団体が力を合せることは、大きな力、新しいものを生み出す良い繋がりです。

全ての団体が一堂に集う交流の場を持てる機会の増えることを願いつつ永久を祈ります。

●沿革

昭和37年(1962年) 第1回の滋賀県写真展覧会を琵琶湖文化館で開催。審査員の中村忠太郎氏と佐藤辰三氏の審査評には、「第1回の出発としては質的にみて大変よろこばしい。応募作品が予想より少なかったという見方もあるようだが写真はあくまで量より質であってほしい。」と記載。

昭和46年(1971年) 第1回芸術祭が開催された年は、写真展覧会が第10回となることから、特別課題作品として、「美(うるわ)しの琵琶湖(うみ)」の作品募集も併せて実施。

写真展覧会は美術展覧会とは別に開催されてきたが、巡回展(秀作展)が開催された時には、美術展覧会の作品とともに写真展覧会での優秀作品が展示された。

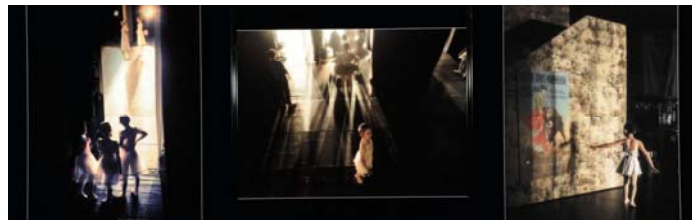
審査員は2名の時や1名の時などがあるが、近年では2名の県外者に2年継続を基本に依頼しており、どちらか1名は前年に審査を行い実績を持つようにしている。

毎年、表彰式開催時には審査員による作品の講評会を行っている。

滋賀県写真展覧会 知事賞・芸術文化祭賞受賞作品（直近6ヶ年）



第54回滋賀県写真展覧会(2015年)
芸術文化祭賞・「わたしの麦わら帽子」石田 麻子



第55回滋賀県写真展覧会(2016年)
芸術文化祭賞・「踊り子」土肥 美帆



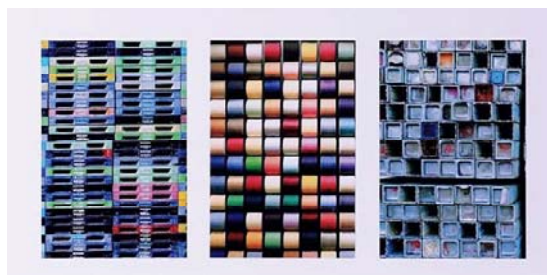
第56回滋賀県写真展覧会(2017年)
芸術文化祭賞・「Wonderful Life」土肥 美帆



第57回滋賀県写真展覧会(2018年)
芸術文化祭賞・「神域」奥村 和弘



第58回滋賀県写真展覧会(2019年)
芸術文化祭賞・「初夏の沿線」岩井 俊祐



第59回滋賀県写真展覧会(2020年)
知事賞・「SQUARES」宮崎 真一

滋賀県写真展覧会

文部大臣奨励賞（文部大臣賞）、知事賞（芸術祭賞、芸術文化祭賞）受賞者

芸術文化祭回数、年度、写真展回数、会期、会場、賞名、作品名、氏名の順に記載しています。

回	年度	回展	会期	会場	賞名	作品名	氏名
1	1971 (S46)	10	10. 1～10. 7	滋賀県立琵琶湖文化館	文部大臣奨励賞 芸術祭賞	「楽しい工作」 「最果の地に」	小林敏雄 池田英男
2	1972 (S47)	11	9. 15～9. 21	滋賀県立琵琶湖文化館	芸術祭賞	「ワニ」	案浦英雄
3	1973 (S48)	12	10. 3～10. 12	滋賀県立琵琶湖文化館	芸術祭賞	「故郷にて」	菊井忠司
4	1974 (S49)	13	10. 1～10. 10	滋賀県立琵琶湖文化館	芸術祭賞	「行」	橋本義徳
5	1975 (S50)	14	11. 4～11. 12	滋賀県立長浜文化芸術会館	芸術祭賞	「溪谷」	寺村千秋
6	1976 (S51)	15	10. 1～10. 11	滋賀県立琵琶湖文化館	芸術祭賞	「残暑」	馬場滋子
7	1977 (S52)	16	10. 6～10. 16	滋賀県立琵琶湖文化館	文部大臣賞 芸術祭賞	「鳥族紳士録」 「散る紅葉」	川上敏博 北村公一
8	1978 (S53)	17	9. 28～10. 10	滋賀県立琵琶湖文化館	芸術祭賞	「裸群」	山元 清
9	1979 (S54)	18	10. 3～10. 14	滋賀県立安曇川文化芸術会館	芸術祭賞	「祇園慕情」	蔭山征紀
10	1980 (S55)	19	10. 9～10. 19	滋賀県立琵琶湖文化館	芸術祭賞	「左義長祭」	葭田広治
11	1981 (S56)	20	10. 1～10. 11	滋賀県立八日市文化芸術会館	芸術祭賞	「兆」	中野安信
12	1982 (S57)	21	9. 22～9. 29	滋賀県立琵琶湖文化館	芸術祭賞	「冬の漁夫」	山元 清
13	1983 (S58)	22	9. 28～10. 10	滋賀県立水口文化芸術会館	芸術祭賞	「カーニバル」	村田のぶお
14	1984 (S59)	23	10. 16～10. 21	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「彩雲」	吉田一郎
15	1985 (S60)	24	9. 26～10. 6	滋賀県立琵琶湖文化館	芸術祭賞	「冬の鷺」	葭田広治
16	1986 (S61)	25	9. 23～9. 28	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「幽」	吉田一郎
17	1987 (S62)	26	10. 20～10. 25	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「埤に歸る」(ねぐらにかえる)	西村正六
18	1988 (S63)	27	10. 18～10. 23	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「祈り」	山本直哉
19	1989 (H 1)	28	10. 10～10. 15	滋賀県立草津文化芸術会館	芸術祭賞	「王たちの眠り」	山本直哉
20	1990 (H 2)	29	10. 16～10. 21	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「ひまわり幻想」	柳本勝彦
21	1991 (H 3)	30	10. 15～10. 20	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「光る帆」	岸田忠嗣
22	1992 (H 4)	31	11. 10～11. 15	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「願」	神崎 徳
23	1993 (H 5)	32	11. 9～11. 14	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「緑陰」	安田真美子
24	1994 (H 6)	33	10. 13～10. 16	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「ホバーリング」	神崎 徳
25	1995 (H 7)	34	9. 26～10. 1	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「輝きの瞬間」	津田昌壽

26	1996 (H 8)	35	10. 15～10. 20	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「狙う」	小西孝夫
27	1997 (H 9)	36	10. 14～10. 19	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「乗りもの」	生駒雅俊
28	1998 (H10)	37	10. 20～10. 25	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「真夏の楽園」	林 嘉雄
29	1999 (H11)	38	10. 19～10. 24	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術祭賞	「目」	賀美成一
30	2000 (H12)	39	10. 17～10. 22	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「ストリート」	小西昭彦
31	2001 (H13)	40	10. 16～10. 21	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「水行」	西河 孝
32	2002 (H14)	41	10. 22～10. 27	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「渚の余韻」	八田一徳
33	2003 (H15)	42	10. 21～10. 26	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「葦を画く人」	高橋 満
34	2004 (H16)	43	10. 19～10. 24	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「春の里山」	山川勝治
35	2005 (H17)	44	10. 18～10. 23	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「晩夏」	八田一徳
36	2006 (H18)	45	10. 17～10. 22	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「追憶」	加藤国子
37	2007 (H19)	46	10. 16～10. 21	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「佳き日」	小早川利子
38	2008 (H20)	47	10. 21～10. 26	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「街角」	伊藤 博
39	2009 (H21)	48	10. 20～10. 25	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「黄龍・五彩池」	田中孫治
40	2010 (H22)	49	10. 19～10. 24	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「印象・モロッコ」	北中 實
41	2011 (H23)	50	10. 18～10. 23	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「海苔漁寸景」	伴 光藏
42	2012 (H24)	51	10. 16～10. 21	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「のれん」	北中喜美子
43	2013 (H25)	52	10. 22～10. 27	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「兆し」	水越貞範
44	2014 (H26)	53	10. 21～10. 26	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「帰路へ」	折笠さつき
45	2015 (H27)	54	10. 20～10. 25	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「わたしの麦わら帽子」	石田麻子
46	2016 (H28)	55	10. 18～10. 23	滋賀県立近代美術館ギャラリー	芸術文化祭賞	「踊り子」	土肥美帆
47	2017 (H29)	56	10. 8～10. 15	甲賀市あいこう市民ホール	芸術文化祭賞	「Wonderful Life」	土肥美帆
48	2018 (H30)	57	9. 30～10. 7	甲賀市あいこう市民ホール	芸術文化祭賞	「神域」	奥村和弘
49	2019 (R1)	58	9. 15～9. 22	草津市立草津クリアホール	芸術文化祭賞	「初夏の沿線」	岩井俊祐
50	2020 (R2)	59	9. 13～9. 20	草津市立草津クリアホール	知事賞	「SQUARES」	宮崎真一
			(参考)	滋賀県芸術文化祭50回記念賞		「一日のはじまり」	田中康雄

(敬称略)

参加事業

滋賀県芸術文化祭の参加事業は、趣旨に賛同し、文化団体等が自主的に公演等を行う事業で、滋賀県芸術文化祭実行委員会の承認を受けた事業とされている。

第1回滋賀県芸術祭の参加事業（公演・行事）では現在の参加事業にあたる協賛公演（行事）が17事業実施された。

参加事業については、県芸術文化祭を県民みんなのものとし、文化芸術活動をより一層推進するため現在では美術・音楽・演劇・洋舞・文芸・伝統芸能・伝統文化・メディア芸術・文化一般の計9分野で募集している。

令和2年度参加状況 （承認事業数の164件の内、22件が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止）

部門	美術	音楽	演劇	洋舞	文芸	伝統 芸能	伝統 文化	メディア 芸術	文化 一般	合計
参加事業数 (前年度)	31 (42)	58 (75)	4 (3)	3 (2)	2 (3)	12 (21)	4 (3)	0 (0)	28 (52)	142 (201)

出演者数 出品者数 (前年度)	39,912 (12,835)	2,581 (6,095)	560 (64)	130 (151)	154 (1,160)	1,115 (2,233)	465 (26)	0 (0)	4,542 (22,547)	49,459 (45,111)
入場者数 (前年度)	38,649 (43,923)	13,293 (30,030)	858 (787)	1,013 (1,200)	68 (214)	2,982 (6,535)	45 (1,460)	0 (0)	91,880 (199,967)	148,788 (284,116)
計 (前年度)	78,561 (56,758)	15,874 (36,125)	1,418 (851)	1,143 (1,351)	222 (1,374)	4,097 (8,768)	510 (1,486)	0 (0)	96,422 (222,514)	198,247 (329,227)

※（ ）内は前回数字



第50回芸術文化祭参加事業
第16回高島市美術展覧会

参加事業観覧者数の推移

第50回	令和2年度	198,247人(142事業)
第49回	令和元年度	329,227人(201事業)
第48回	平成30年度	430,575人(209事業)
第47回	平成29年度	418,630人(224事業)
第46回	平成28年度	459,783人(205事業)
第45回	平成27年度	366,244人(203事業)
第44回	平成26年度	419,426人(205事業)
第43回	平成25年度	419,993人(212事業)
第42回	平成24年度	274,311人(197事業)
第41回	平成23年度	346,933人(220事業)
第40回	平成22年度	287,063人(175事業)
第39回	平成21年度	262,681人(179事業)
第38回	平成20年度	328,866人(187事業)
第37回	平成19年度	378,164人(180事業)

過去の公演事業

現在は、主催事業と参加事業からなる芸術文化祭であるが、第1回芸術祭から第39回芸術文化祭までは、主催公演（行事）として、文化公演事業や展示事業などを実施してきた。

【第1回から第4回までの主催公演（行事）開催実績：美術展覧会、写真展覧会、文学祭を除く】

●第1回滋賀県芸術祭

東京国立近代美術館巡回展・近代日本の素描展、安土桃山時代の文化展、平岡養一木琴コンサート、県民音楽のつどい、東京バレエ団公演「白鳥の湖」、名画鑑賞会

●第2回滋賀県芸術祭

滋賀工芸美術展、県展巡回展、第6回現代美術選抜展、先史時代の文化展、ブルガリア少年少女合唱、ピアノコンサート「ヘムルート・ロロフ」、移動芸術祭 新劇「マクベス」、名画鑑賞会、滋賀県子ども芸術祭

●第3回滋賀県芸術祭

移動芸術祭「新劇」、立川清登リサイタル、名画鑑賞会、秋季特別展「近江の風土記」、県展巡回展、近江の文化史展「古墳時代の文化」、移動芸術祭「歌舞伎」、滋賀県子ども芸術祭、児童劇公演、安川加壽子ピアノリサイタル、第7回現代美術選抜展

●第4回滋賀県芸術祭

移動芸術祭（新劇、交響楽、オペラ、バレエ、ミュージカル、文楽、歌舞伎）、秋季特別展「近江の杜」、近江の文化史展「奈良時代の文化展」、滋賀県こども芸術祭、児童劇（親子劇場）、県展巡回展

公演事業は形を変えながらも継続的に行われ、平成21年開催のフェスティバル事業「ダンスフェスティバル in 東近江」（東近江市立八日市文化芸術会館）と「みんなでconcerto長浜音楽祭2009」（長浜文化芸術会館）の2事業をもって終了した。



平成20年度 ダンスフェスティバルin東近江
(東近江市立八日市文化芸術会館)



みんなでconcerto長浜音楽祭2009
(長浜文化芸術会館)

滋賀県芸術文化祭組織要綱

(趣旨)

第1条 滋賀県芸術文化祭（以下「芸術文化祭」という。）の実施に関し、その企画および調整ならびに円滑な運営を図るため、この要綱を定める。

(組織)

第2条 芸術文化祭を円滑に推進するため、会長および芸術文化祭実行委員会（以下「実行委員会」という。）を置き、会長は知事をもって充てる。

(実行委員会)

第3条 実行委員会は、芸術文化団体・関係機関の役職員および学識経験者ならびに県・市町文化行政関係職員のうちから会長が委嘱する者（以下「委員」という。）をもって組織する。

2 委員数は、30名以内とする。

3 委員の任期は、当該年度限りとする。

4 実行委員会の会務は、次のとおりとする。

(1) 芸術文化祭の実施に関する基本的な事業の企画調整

(2) 各部門の連絡調整

(役員)

第4条 実行委員会に、次の役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 1名

2 委員長は、公益財団法人びわ湖芸術文化財団理事長をもって充て、実行委員会の会務を統括する。

3 副委員長は、委員の互選とし、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(部門委員会)

第5条 実行委員会は、必要に応じて部門委員会を置くことができる。部門委員は委員長が委嘱した者をもって充てる。

2 実行委員会は、部門委員会に審査員または選者を置くことができる。審査員または選者は、委員長が委嘱した者をもって充てる。

3 部門委員会の会務は、関係する事業についての具体的な企画および運営とする。

(庶務)

第6条 実行委員会の庶務は、公益財団法人びわ湖芸術文化財団において処理する。



第50回滋賀県芸術文化祭第3回実行委員会
(びわ湖ホール大ホールホワイエ)

滋賀県芸術文化祭実行委員会構成

芸術文化団体

美術	滋賀県美術協会
	滋賀県写真連盟
	滋賀県造形集団
	滋賀県工芸美術協会
	公益社団法人滋賀県書道協会
文芸 音楽	滋賀文学会
	滋賀音楽振興会
	滋賀県吹奏楽連盟
	滋賀県器楽バンド連盟
	滋賀県合唱連盟
	滋賀県三曲協会
	滋賀県吟剣詩舞道総連盟
伝統文化	滋賀県花道協会
	一般社団法人茶道裏千家淡交会滋賀支部
舞踊	滋賀洋舞協会
鑑賞団体	滋賀県おやこ劇場連絡会
学校教育	滋賀県高等学校文化連盟
メセナ	株式会社しがぎん経済文化センター
文化施設	滋賀県公立文化施設協議会
財団	公益財団法人びわ湖芸術文化財団
市町	滋賀県都市教育長会
	滋賀県町村教育長会
	大津市文化連盟
県	滋賀県文化スポーツ部長

計24団体（名）

なお、滋賀県芸術文化祭実行委員会事務局は公益財団法人びわ湖芸術文化財団内に置くこととする。

記載内容は、開催当時の資料により編集しています。

滋賀県芸術文化祭 50 回記念誌

令和 3 年 (2021 年) 3 月発行

編集・発行：滋賀県芸術文化祭実行委員会事務局
(公益財団法人びわ湖芸術文化財団内)